

科 目 名	【飯能信用金庫寄附講座】地域と金融	授 業 形 態	講義科目
担 当 者	湯浅 由一	単 位 数	2単位

金融の現場を知る講師陣から地域金融と金融全般について学ぶ

1. 授業内容

人間で言えば金融は血液です。金融がうまく流れなければ経済は衰退します。一口に金融機関といっても、大手の都市銀行から地方銀行、信用金庫、信用組合、農協、労働金庫などその業態は様々です。その中でもとりわけ地域金融に特化し、地域の経済と社会の活性化に貢献する信用金庫に焦点をあて、地域金融の現場を知る信用金庫職員から地域金融機関の使命と役割、業務内容などを直接学びます。

同時に、地域金融機関としての飯能信用金庫の実務経験者から、私たちの生活と金融がどのような関わり合いを持っているのか等を実践的金融論から学ぶことができます。毎回、異なった部署で働いている講師の話聞けるので、金融機関で働くとはどういうことか具体的なイメージを持つことができます。

2. アクティブ・ラーニングの要素

発見学習／体験学習／ケース学習・ケースメソッド

3. 到達目標

全体の講義を通じて、飯能信用金庫の現役職員による体験談を盛り込んだ内容で講義を行うことにより、実際の業務を踏まえた地域金融機関の使命と役割の理解を目標とします。加えて、社会人に触れることで、受講生の社会人基礎力を養成するきっかけとします。

4. 到達目標となる駿大社会人基礎力/養成する能力要素

⑬課題発見力／⑮問題解決力

5. 卒業認定・学位授与方針との関連

この科目は、ディプロマ・ポリシー（全学部）の「（２）考える力」と関連しており、さまざまな角度から物事をみつめ、広い視野から筋道を立てて考える力を養います。

6. 関連科目

現代金融論

7. 授業外における学習方法及び必要な時間

毎回、レジュメが配布されます。講義の受講後、理解不明な点がある場合には、質問を紙ベースで受け付けます。そして、次の講義中で回答するというやり方を採用します。受講生はレジュメの内容を確認してください。週当たり、4.0時間。

8. 成績評価方法

評価方法	評価割合	成績評価基準等
受講態度	70%	まじめな受講態度を高く評価します。
期末レポート	30%	レポートの内容によって講義の理解度について評価します。

9. 課題に対するフィードバックの方法

リアクション・ペーパーを通じて、受講生との情報交換を行います。

10. 実務経験のある教員による授業科目等

担当教員の実務経験	実践的な教育の取組
飯能信用金庫の職員さんによるオムニバス方式での講義	信用金庫の役割・融資業務・資産運用の実際の取引について解説されます。

授業計画	
第1回	講義オリエンテーション
第2回	地域金融機関（信用金庫）の使命と役割
第3回	営業店業務について（預金業務・信託業務・保険窓販）
第4回	投資信託（座学・シミュレーション）
第5回	営業店業務について（融資業務：事業所・消費者ローン）
第6回	中小企業の現状について
第7回	中小企業の伴走支援、事業承継・相続の取組
第8回	地域金融機関の非金融の取組。マネロン・サイバー・特殊詐欺対策
第9回	経済産業省の業務内容。金融機関、自治体、企業の関わり
第10回	財務省の業務内容。金融機関、自治体の関わり
第11回	信金中央金庫との連携について。業務内容。
第12回	投資信託（シミュレーション・総体のフィードバック）
第13回	飯能信用金庫の求める人財、人財育成、ウェルビーイング
第14回	地域金融機関としての今後の飯能信用金庫について
第15回	まとめ

11. テキスト・参考書等

書名	著者	出版社	ISBN	備考
-	-	-	-	-